



中泊119

平成18年5月号

『火災予防パレード 実施される』

春の火災予防週間の初日の4月10日(月)から小泊地区で火災予防パレードが実施されました。このパレードには消防団員・婦人防火クラブ・消防職員が参加し小泊地区団長の挨拶で始まり、住民の防火に対する意識の向上と火災予防のために地区内を指令車・タンク車・救急車・分団のポンプ車3台の計6台でパレードを行いました。

山火事・ 山岳遭難防止

今年も、いよいよ本格的な山菜狩りシーズンを迎え、入山する機会も多くなることで山火事・山岳遭難事故も、この時期に多く発生しています。山火事の原因としては、入山者のタバコ火やピクニック等での焚き火などの不始末が大きな原因となっています。残り火には十分注意し、水をかけて完全に消えたのを確認しましょう。

また、特にタバコを吸う人はポイ捨てをやめ、携帯用の灰皿を持ち歩き、火の元には十分注意しましょう。
美しい緑の山を一瞬のうちに灰にしてしまう山火事から山を守るためには、入山者一人ひとりが注意しなければなりません。美しい緑の山を守りましょう。

火事/救急/救助は
119番
五消本部病院照会
34-4999番
中里消防署
57-2370番
小泊消防署
64-2375番

☆遭難事故を防ぐためには次のことに注意しましょう。
天気予報をよく確かめる。

天候が悪くなりそうな時は、早めに下山する。

少人数で地理の分からない山には入らない。

着替え、雨具、食料等を携帯する。

家族などへ入山場所、帰宅予定時間、同行者などを知らせておく。

☆遭難事故にあった時のために次のことを心掛けましょう。

その場から、なるべく動かないようにし、救助を待つ。

着替え、雨具等で体を冷やさないようにする。

衰弱しないように、少しずつ食料をたべる。

◎ご協力お願いします。

時間を過ぎても帰宅しなかった場合は、早急に警察署、消防署まで連絡をお願いします。

『山での事故に 気をつけましょう』

春の山は、雪解けたばかりで足場がぬかるみ、転落・転倒で怪我をしたり、蛇に咬まれたり蜂にさされるなど予期しない状況に陥る事があります。

①骨折・脱臼・捻挫・韌帯損傷 の疑いがある場合。

・腕の場合
木の枝などを副木代わりにして骨折部分を上下でタオル等で縛り、そのまま固定する。
・足の場合
腕の時同様、木の枝などを副木代わりにして骨折部分を足の内外両側からタオル等で縛り、固定する。

②毒蛇に咬まれたら。

・まず咬まれた部分より心臓に近い部分を血管が軽く浮き上がる程度に縛る。
毒の有無が解らない時は有毒と考える。

③蜂に刺されたら。

・刺された箇所をすぐ調べ、針が残っていたらすぐ抜く。抜いたら、その箇所を押すなどで毒を出す。それからすぐ冷やして病院に行くようにしましょう。

この人紹介

4月1日付けの人事異動がありました。
中里消防署から小泊消防署へ
小野 貢 消防士長
消防35暦年



小泊消防署から中里消防署へ
柏崎 健太 消防副士長
消防9暦年



代表して中里消防署へ来た柏崎副士長より今後の抱負を聞きました。

今後の抱負

「消防人として初心に帰り、一から勉強するつもりです。中里消防署の一員として精一杯、努力し、町民の皆さんの為に頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。」